

公益財団法人

栃木県ひとり親家庭福祉連合会



宇都宮市野沢町4-1

☎ 028(665)7806

発行人 栗橋幸子

印刷所 高橋平版社

白梅

令和元年度

ひとり親家庭福祉研修大会



下野市 田口 茂子

七月七日(日)・八日(月)鬼怒川観光ホテルにおいて「栃木県ひとり親家庭福祉研修大会」が開催されました。今年には本会の創立七十周年記念大会となりました。

■創立七十周年記念講演

記念講演は、とちぎ未来大使、方言作家であり、CRTととちぎ放送、とちぎテレビで活躍中の嶋均三氏が、「つよく、やさしく、子を育てし母たちに幸あれ!」と題してご自身の体験を話してくださいました。早くにお母さんを亡くしおバアちゃんに育てられた嶋さんは、家の手伝いをよくしました。友達と野山で泥んこになって遊び、稲刈り後の田んぼで悪さをしては近

所のおじやんに怒鳴られ逃げ回った少年時代。「昔は近所の人皆が子どもを育てていた。」と嶋さんは言います。貧しかったが不幸ではなかったとも。厳しくても愛情を注ぐことが大切であり、孤立を防ぐためにも近所の人との交流が必要と感じました。栃木弁での語りにぬくもりと懐かしさを覚え、大笑いして講演は終了しました。

■分科会

その後行われた分科会では、三つのテーマ別に分かれそれぞれ討議しました。今回は初めての試みでメモ用紙に意見を書き、ホワイトボードに貼り付けて議論する方法でした。

*第一分科会

「目指そう自立、活かそう支援策」

- ・高等職業訓練促進給付金を利用して現在の職に就けた。
- ・パソコン講習を受け就職した。
- ・ロソンの「夢を応援基金」ひとり親家庭支援奨学金制度」で調理専門学校に進学できた。
- ・自主的に支援制度の説明を聞きに来る訪問客が増加した。
- ・市の在宅介護オアシス支援事業で在宅介護施設を開設、就業で自立した。

*第二分科会

「未来へつなぐ、世代の輪」

- ・会員が津軽三味線の演奏を続けられるよう支援した。

- ・学習支援のおかげで高校合格・SOSを出しやすくなった。気楽にお手伝いできる人の育成。
- ・生活資金に困っている会員は母子・父子自立支援員や福祉事務所、健康福祉センターの相談へつなげるとよい。
- ・今後テーマに挙げてほしい事「いじめ」「虐待」について

*第三分科会

「すべての子どもに安心と希望を!」

- ・子ども食堂を開きひとり親家庭が気軽に参加できた。茂木町二年目。
- ・学習支援でひきこもり状態から立ち直り、成績が改善した。
- ・個室を用意し、安心して個別相談できるよう配慮した。
- ・家庭生活支援員も仕事があり支援に入れない人が多い。
- ・新規会員加入促進への取り組み独自のチラシを作成し、こまめな対応で周知を図る。
- ・いちご狩り、ケーキ作りなどに会員外の人を誘って喜ばれた。未だ加入はないが継続することが大切である。
- ・数多くのご意見がありました。一部を紹介いたしました。

「研修大会を終えて」

壬生町 瀬戸 洋子

今年には創立七十周年というところで、記念講演を実施することになりました。第一日目は栃木県保健福祉部

こども政策課 児童家庭支援・虐待対策担当 係長 鶴巻朋子氏による行政説明の後、記念講演となりました。演題は「つよく、やさしく、子を育てし母たちに幸あれ!」講師は、とちぎ未来大使であり、方言作家の嶋均三氏でした。栃木弁で「だいききなおづる婆っば」の話を熱く語り、などなどなども交えながらの、ユーモアたっぷりな笑いの絶えない一時間半でした。その後、第一、第二、第三分科会に分かれ、それぞれのテーマについて話し合いました。この日は七夕でもあり、色とりどりの短冊に各自意見を書き、ホワイトボードに貼り出し、ディスカッションを行いました。二日目は、栃木県消費生活センター主任 関沼宏和氏と消費生活相談員 鈴木美恵子氏による、くらしに関する講座「消費者トラブルにあわないために」をお聴きしました。悪質商法から身を守るには、一人で悩まずすぐに身近な人や消費生活センターに相談するか、消費者ホットラインいやや!一八八に電話をすること。また、だまされなためさしすせそなどを学びました。研修大会最後には分科会の発表があり、三つの分科会から盛りだくさんの意見が挙げられました。大変意義深い研修大会になりました。

第25回 栃木県民福祉のつどい



令和元年8月29日(木)
宇都宮市文化会館大ホール



知事表彰を受けて

鹿沼市 川村 洋子

このたび、栃木県民福祉のつどいにおいて、栄えある知事表彰を受けました。関係者の皆様そしてこれまでひとり親家庭福祉連合会に携わってこられた多くの会員の皆さん、諸先輩方のおかげと、心より感謝申し上げます。

思えば四十六年前、夫との急の別れの時、近所に住んでおられた会長さんが強く心を寄せてくださり、その後入会すること

になりました。会員の皆さんはそれぞれに、さまざまな思いを胸に参加していることを痛切に感じました。

長年、会全体の活動や若年部の活動に、会員の皆さんとともにひとつの道を歩んできました。合併の時代に入り、会員数も増え地域も広がると、新たな出会いがさらに心も広がってくれました。

日頃会の運営にあたられる会長、役員さんのご尽力で、このたびの受賞となりました。母子家庭になったことを知っている人は、今も「大変だったね。」と声をかけてくださり、私はいつも「おかげさまで。」とお返しします。

引き続き、皆々様に感謝しつつ「目を配り、気を配り、人の心に寄り添い」微力ながら力を注いでいく所存です。

ひとり親家庭福祉連合会のますますの発展と皆々様の幸せを心よりお祈りして、感謝の言葉といたします。このたびはありがとうございました。



会長表彰を受けて

足利市 小松崎 元子

第二十五回栃木県民福祉のつどいにおいて、栗橋幸子会長より表彰を受けました。

当日は、栃木県各地よりの受賞者を代表することとなりました。身に余る光栄に存じます。思い起こせば、私が四歳の時に父がフィリピンのマニラ沖で戦死し、母、姉、兄と私の母子家庭となりました。育ててくれた母に感謝しております。

私は、子供が一歳の時に母子家庭となりました。子供は今四十八歳です。四十七年たったことになりました。長い間、母子会にはお世話になってまいりました。

現在、子供は近くに住んでおり、孫も二人おり穏やかに暮らしていますが、子育ての時期は

本当に大変でした。華工芸教師をして、寝る間も惜しみ自宅や公民館等で頑張りました。市役所の母子相談員も六十歳まで務めました。今もおかげさまで華工芸教師をして働いております。最近、若い母子家庭が増えていきますので、ささやかな恩返しと思いい、地区会長としてお手伝いしております。ありがとうございます。



県民福祉のつどい 表彰者

第25回栃木県民福祉のつどいにおいて、永年の母子寡婦福祉の功勞により次の方が表彰されました。

《栃木県知事表彰》

母子家庭等支援功勞者

鹿沼市	川村	洋子
真岡市	小森	まさハ
那須塩原市	福島	シツエ

《栃木県ひとり親家庭福祉連合会長表彰》

母子寡婦福祉関係功勞者

足利市	小松崎	元子
佐野市	柴田	トク子
真岡市	山田	サト子
那須塩原市	後藤	典子
那須烏山市	瀧	喜久子
高根沢町	若色	ヨシ

～おめでとうございます～



那須町

松浦 絹子

那須町母子寡婦福祉会では、五月に加入促進事業を兼ねて日光へ日帰り会員研修に行ってきました。参加者十九名で、イタリア大使館別荘記念公園・英国大使館別荘記念公園から新緑の中禅寺湖を眺め、日光東照宮では観光ガイドさんのユーモアのある説明を聞きながら見学してきました。

日光木彫りの里工芸センターでは、ひっかき刀と呼ばれる道具に苦戦しながら日光彫りで手鏡作りを体験し、自分や家族、孫への素敵な土産ができました。若かりし頃を思い出し、大人の修学旅行気分を満喫した研修でした。

また、日頃の運動不足を解消するため、介護予防体操や簡単なレクリエーションなども行っているほか、那須塩原市ひとり親家庭福祉連合会の皆さんと、毎年交流会を実施しています。この交流会は年一回ですが、回を重ねるごとに会員同士の会話も弾み、事

業を通して顔を合わせる良い機会だと感じています。企画を考へるのは少し大変ですが、これからも継続していきたいです。今後会員の高齢化が心配ですが、無理をせずできる範囲で会員の皆さんと楽しく活動していこうと思っています。



佐野市

関根 弘子

佐野市母子寡婦福祉連合会では、二月の新年会に始まり三役員会、理事会を開き、総会を五月の末に行います。今年は母支部長さんが若い方に変わりましたので、良い案が出るのではないかとと思っています。

母子部会では、毎年十一月にデイズニールランドとデイズニールを交互に訪れています。また、十二月には公民館を借りて、クリスマスケーキを作りま

す。完成したケーキを写真に撮り、連合会で用意した昼食を食べ、子どもたちにはお菓子袋を渡します。皆楽しく家に帰っていきます。

寡婦さんたちは、年に一度の泊旅行を楽しみにしています。今回は、群馬県の草津温泉ホテル櫻井に宿泊し、宴会やカラオケを楽しんできました。社会福祉協議会主催のフェスティバルでは、ボランティアで赤飯を蒸かして販売しています。さらに十一月には、どまんなかフェスタでイモフライを揚げ販売するなど、皆さん高齢ですが、協力していただき頑張っています。若年部の方々に参加していただけると助かります。

矢板市

金田 トシイ



矢板市母子寡婦福祉連合会では、様々な活動を行ってきました。介護老人福祉施設でのガラス拭きや草むしりなどの清掃活

動をはじめ、サロン活動にも参加しています。

市内にある「ココマチ」で、月三回ほどスタッフとして協力しており、地域の方々と交流をしています。毎年十一月には、社会福祉協議会が主催する「福祉まつり」に参加し、母子寡婦福祉連合会の啓発活動を行いました。

栃木市

S・A



令和元年七月二十八日、加入促進事業として、那須サファリパークに行ってきました。台風六号の接近で開催が危ぶ

まれ、役員一同ハラハラドキドキでした。しかし、当日は天候も回復し実施することができました。バスで園内を一周し、いろいろな動物と触れ合うことができましたが、小さな子には刺激が強すぎたのか、怖がつて泣いてしまう子もいました。バスの運転手さんが、おもしろおかしく動物たちの性格や特徴を話してくれて、とても勉強になりました。

帰りは南ヶ丘牧場に立ち寄り、美味しいソフトクリームを皆で食べました。子どもたちはお馬さんにも乗ることができ、楽しい一日を過ごしました。ただ、今年は会員外の参加者が一組しかなく、入会していただけなかったことは残念でした。来年はたくさんの方に参加していただき、入会者が多くなるよう、広報活動に力を入れていきたいと思っています。



日光市

福田 政

日光市藤原地区では、二月十三日に、藤原高齢者生活福祉センター「ふじの郷」で、加入促進事業を実施しました。会員十七名、未加入者二十名という、多くの方が集まってくれました。

前半一時間は、介護老人保健施設ヴィラフォーレスタ(森の家)の中口和彦先生による「筋肉の豆知識」の講話をお聴きし、大変為になりました。後半一時間は、介護予防運動指導員の渡辺ひとみ先生から体操をご指導いただき、参加された皆さんに喜んでもらえました。その後すぐに体操を続けようという話がまとまり、週一回渡辺先生にご指導をお願いして、体操の会を立ち上げました。加入促進にもつながり、大成功でした。



*局長独言

事務局長 阿久津 真

私が栃木県ひとり親家庭福祉連合会にお世話になって一年半が過ぎようとしています。私はそれまでひとり親福祉関連の仕事とは縁遠く、恥ずかしながら、連合会や市町母子寡婦福祉団体の組織や活動内容を詳しく知ることはありませんでした。

着任し時間が経つにつれ、組織の現状が少しずつ分かってくると、今後も継続して事業を実施し、組織運営していくことが如何に大変なことであるかが見えてきました。

まず、以前から叫ばれていた問題ですが、会員数減少が顕著です。少子高齢化で会員が減っていくのは自然な流れなのかと考えますが、ひとり親の数が大幅に減っている訳ではありません。母子家庭の若いお母さんの入会がなく、入会しても子どもの成長とともに退会し定着しないのかもしれないかもしれません。若い会員の入会がなければ、将来的に組織の存続自体の問題にもなってきます。これからもあらゆる機会を通じて会員の確保に努めていかなければならないと思います。

次に事業実績低迷の問題があります。「母子家庭等就業・自立支援センター」の相談件数が減少し、また、就業支援講習会受講者数も減るなど、本当にこれらの事業はひとり親にとって必要とされていないのかとさえ思えてきます。当然、需要と供給の原則から、実績が伴わなければ受託事業予算は削減され、内容の見直しも必要となってきました。改めて事業内容を広く案内するとともに、実施方法等の改善を図っていかねばならないと考えています。

その他にも自主財源の確保等の問題がありますが、これらの問題に直面していることは、役員や会員の方々も日々感ずるから感じてもらえるのではないのでしょうか。ぜひとも、多くのひとり親の方々に、私たちの母子寡婦福祉団体を知っていただき、一緒に活動し、利益を享受できるように努めていければよいのですが。還暦過ぎの爺の私ですが、これからの微力ながらお役に立てればと思っています。

家庭生活支援員養成研修受講生募集

ひとり親家庭の方が、病气や冠婚葬祭、学校行事、就職活動などで、育児に困った時に子育てをサポートする家庭生活支援員の養成研修受講生を募集します。一緒に子育てのサポートをしませんか？

▶土曜日コース

1月18日

2月1日・8日・15日

▶日曜日コース

1月19日・26日

2月2日・16日

※上記の他、保育施設での見学実習があります。

- 内容** 子育て支援に関する講義
- 対象** 5日間の講習をすべて受講できる方。家庭生活支援員として登録し、子育て支援に従事できる方
- 場所** とちぎ男女共同参画センター（パルティ）及び居住地区の保育施設
- 受講料** 無料
- 託児** あり（予約制）
- 申込締切** 12月17日（火）
- お問い合わせは** 栃木県ひとり親家庭福祉連合会
☎028-665-7801, 7806

ひとり親家庭サポーターのつどい

「発達障害って何？」

～安心して子育てするために～

をテーマに開催します。

- 日時** 11月24日（日）
12時30分～（受付開始 11時40分～）
- 場所** パルティとちぎ男女共同参画センター ホール
- 内容** **講演** 「発達障害」～その理解と対応～
とちぎ・ふじ発達研究所
代表 佐藤 俊夫 氏
講話 「発達障害を知ろう」～疑似体験を通して～
栃木県中央児童相談所
岩井 幸祐 氏
- 参加費** 無料 どなたでも参加できます。
- 託児** あり（事前にご連絡ください）
- 参加申込み・お問い合わせ**
栃木県ひとり親家庭福祉連合会
☎028-665-7801, 7806



編集後記

今年の梅雨は、かなり長く大変でした。コインランドリーがどこへ行ってもいっぱいでした。これからの季節はどうなってしまうのかと心配しています。

さて、文章を書くのは大変ですが、下手な文章でもきれいに直し、元の文より良くしていただき、県の事務局にお礼を申し上げます。これをお読みくださった皆さん、安心して、思い切って書いてみましょう。各地からの楽しいおたより、お待ちしております。

〈広報部会〉

田口・齋藤・赤荻・山口
高田・木村・森島・三田
織田・野呂

「白梅」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

全国母子寡婦福祉研修大会 関東地区母子寡婦福祉研修大会

令和元年10月26日(土)から27日(日)に神奈川県川崎市において開催されます。